



尾島 政明さん

体を動かす仕事がしたくて

現役時代の業務は、デスクワークだったことで体を動かす仕事がしたいと考えていました。入会説明会で中央緑地公園運動施設の欠員があることを知り、即決で入会し、就業の希望を伝えました。昨年5月から諸先輩のおかげで楽しむ就業出来ています。利用者に安心して気持ちよく使用していくだけるよう施設の清掃、点検を常に行うように努めています。また、利用者と接する時は、笑顔で挨拶するようになります。今年の4月から業務が追加され、人員不足で個人の負荷が増しており、一日も早い増員ができるようお願いしているところです。



大橋 升一さん

趣味と就業とバランスよく

定年後に暇があるとゴルフばかりしていました。前会社の同僚に進められ入会しました。入会して4年になります。三滝テニスコートで就業しています。現役時代のノルマに追われるストレスとは違つて良い職場だと思います。ボーリングとゴルフを週1回続けています。旅行が趣味で年に3回、同僚と行きます。老後、夫婦二人でゴルフが趣味で楽しくるように奥さんもゴルフレッスンを受けました。



堀池 三枝子さん

老後は、夫婦のそれぞれの時間が必要

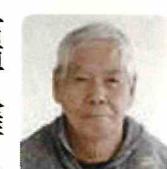
老後、主人と生活を共にしていく上でそれぞれの時間があつた方が上手く生活できると思ったことや、まだ働きたいと思い入会し、5年目になります。現在は、介護事業に従事しています。四日市まつりのおどりフェスタやグランプリゴルフ大会にも参加でき健康に生活できることに感謝しています。地区市民センターで入会説明会をしてもらえるとお友達を紹介しやすいです。



石井事務局長

干支座談会を終えて

たくさんの方にご参加いただきありがとうございました。人生の先輩のお話を伺うことができ非常に有意義でした。皆様の人生の第2章、第3章でシルバーと出会い、長くシルバーに関わっていることを知り、当センターの意義を実感しました。私は、昨年入会したばかりのまだまだ若造ではございますが、皆様のお元気な姿を見させていただけて、わたくし自身のシルバー人材センターでの活動に対する自信と責任の重さを再確認しました。皆様が各方面で就業を通じ活躍し、お体を大切していただきながら、生活していただくことを心より祈念申し上げます。



石垣 久雄さん

仕事をすることが健康でいられる

今日は、人生の先輩にいろんな話を聞けて有意義な時間を過ごすことができました。令和5年9月に入会しました。社会に参加することで、私自身の知識の向上、死ぬまで仕事しないことがあります。人生は死ぬまで仕事しないといけない。仕事をすることによって体調管理ができます。みんなの話を聞いていると年齢を超えて、就業を通して健康を維持している気がします。学びたいと思いました。おやじより長生きすることが目標です。



近藤 次男さん

溶接職人として50年

現役を引退し、入会後すぐに民間事業所を紹介してもらいましたが、20代の時に痛めた腰が悪化し、仲間に迷惑をかけたところを治しているところです。溶接の職人として50年やつてきました。1年間アフリカで作業したことが一番の思い出です。趣味の山菜取りに出かけて、腰痛を忘れて、気分転換したいと思います。